

第2学年 算数科学習指導案 単元名 「4けたの数」	日 時 令和4年1月19日 第2校時 学 年 第2学年 4名 指 導 者 森田 汐音
--	--

1 単元について

(1) 単元観

本単元で扱う4位数は、学習指導要領には以下のように位置づけられている。

第2学年 A 数と計算

(1) 数の構成と表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 同じ大きさの集まりにまとめて数えたり、分類して数えたりすること。

(イ) 4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解すること。

(ウ) 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。

(オ) 簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すこと。

イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること。

(ア) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすこと。

(2) 加法及び減法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。

イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること。

(ア) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見出したりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。

これまでに児童は、第1学年第14単元「大きいかず」や第2学年第5単元「3けたの数」では、10や100のまとまりをつくりながら数える活動を通して、数の読み方や書き方を学習してきた。また、数の構成や相対的な大きさ、系列や大小、数と式の大小や相等関係を不等号、等号を用いて表すことも経験してきた。

本単元では、数範囲を10000まで拡張して十進位取り記数法についての理解をいっそう深めていくことを狙いとしている。

既習内容と関連付け、言葉、式による表現を互いに結びつけながら、数構成や系列の理解をより確実にしたい。

(2) 児童観

レディネステストより、数の書き方や読み方は理解していることが分かった。1学期では、位取り表や数カード等の半具体物の操作をすることで理解をしてきた。同じ大きさの集まりにまとめたり分類したりすること、数の大小や順序について理解すること、数を十や百を単位としてみるなどの数の相対的な大きさについて理解することに課題があると分かった。本単元に入る準備として1学期の既習内容である3けたの数をもう一度確認する必要がある。

問題（誤答率の高かった問題）	正答率	主な誤答
八百六 百の位の数字	2/4	800, 80
八百六 十の位の数字	1/4	6
270は、10を□こあつめた数です。	2/4	20, 70
30+90□112	2/4	<

数を数字で書きましょう。(未学習内容) ①千二百六十四 ②四千二百	①1／4 ②0／4	①10264, 12064, 120604 ②40200, 4020, 40020, 40210
---	--------------	--

(3) 指導観

本単元で働かせる主な数学的な見方・考え方	指導のポイント
・単位の個数が10個集まるごとに新しい位を作ること、単位の個数を数字を用いて表す。 ・数のまとまりに着目し、言葉、図、式を関連付ける。 ・数カードを使って、言葉や図、式に表し説明する。 ・数直線上の数の系列、順序などを視覚的に捉える。	・具体物や半具体物、数カードを使って、100のまとまりに着目させる。 ・言葉や図、式を関連付けて表現させる。 ・位取り表を使って、数カードを動かしたり指でおさえたりして理解させる。

2 単元の目標

○ 10000 までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

(学習指導要領の内容 A 数と計算 (1) アイ)

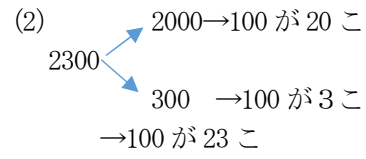
3 単元計画 全11時間(本時5時間目)

次	時	学 習 内 容	児童の思考の深まり
第 一 次	1	課題の設定(1) ・4位数の読み方と表し方の理解	・千を2こあつめた数を二千というんだね。
	2	情報の収集(3) ・空位のある4位数の記数法の理解と4位数の位取りの仕組みの理解	・数字の中に100はないから百の位の数字は0と書き、読むときには百の位を言わないんだね。
	3	・10000未満の数の構成の理解	・100が10こ集まると千の位に1繰り上げればいんだ。
	4	・10000未満の数の構成の理解	・大きな数でも言葉と式を使って表すことができるね。
	5	整理・分析(2) ・数のまとまりに着目して数の相対的な大きさを捉える【本時】	・100をもとにして考えると、千より大きい数を表すことができるね。
	6	・数直線の読み取りを通して、4位数の大小、順序の理解	・1目盛りの大きさに注目すると数の線が読むことができるね。
	7 8	まとめ・創造・表現(4) ・10000の構成、数の読み方、書き方及び10000付近の数の理解	・数の線を使うと、10000の近くの数もよくわかるね。
第 二 次	9	・数の構成に着目し、10000までの数について考える	・1つの数を考えるときでも、式や数の線で見るができるんだね。

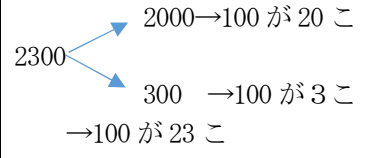
学 び 合 う ま と め る た し か め る ふ	• 100 が 10 こ→1000 100 が 8 こ→800 $1000+800=9000$ • 100 が 10 こ→1000 100 が 8 こ→800 $1000+800=1800$ 6 みんなで話し合う。 • まず, 18 を 10 と 8 分けます。 100 が 10 こで 1000, 100 が 8 こで 800 です。 つぎに, $1000+800=1800$ です。 だから, 100 を 18 こあつめた数は 1800 です。 • 100 が 10 こ→1000 100 が 8 こ→800 $1000+800=1800$ (2) 2300 は, 100 を何こあつめた数ですか。 • まず, 2300 は 2000 と 300 に分けられます。 次に, 2000 は 100 が 20 こ, 300 は 3 こです。 なので, 2300 は 100 を 23 こあつめた数です。 • 2300 は 2000 と 300 に分けます。 $2000 \rightarrow 100$ が 20 こ $300 \rightarrow 100$ が 3 こ $20+3=23$ だから 2300 は 100 を 23 こあつめた数です。 • まず, 2300 を 2000 と 300 に分けます。 次に, 2000 は 10 を 20 こ, 300 は 10 を 3 こです。 最後に $20+3=23$ になります。 だから 2300 は 10 を 23 こあつめた数です。 7 まとめる。 ま 100 のまとまりをもとにして考えると, 数の大きさを考えることができる。 8 練習問題をする。 教科書 p. 58 の△10 をする。 全員でポイントを確認する。 △11 (①と③) をする。 9 学習を振り返る。	に着目させる。 ○数カードやドットカード, ことば, d マークを使って考えさせるようにする。 ○数カードや図, 言葉で説明できるようにしておく。 ○数カードが難しい児童にはドットカード等の半具体物を使って考えるように促す。 ○自分の考えを言葉や図, 式等を使って説明させる。 ○発表してもらった後に全員で操作させる。 ○2300 は 2000 と 300 であることに着目させる。 ○分からない児童には p. 58 を見たり数カードを操作したりしながら考えてもよいことを伝える。 ○ポイントとして「100 のまとまり」や「100 をもとにして」をおさえる。 ○「何を学んだか・何を学	◆数のまとまりに着目し, 100 を単位としてとらえている。 (思・判・表 ノート)
---	--	--	---

り か え る		習したのか」を振り返りとして書くようにする。	
------------------	--	------------------------	--

(8) 板書計画

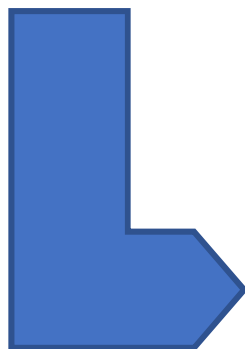
1/19 (木)	4けたの数	学びあい	(1) 100 が 18 こ 100 が 10 こ→1000 100 が 8 こ →800 1000+800=1800												
めあて	100 のまとまりをもとにして考えよう。														
P. 58															
問だい	100 を 18 こあつめた数はいくつですか。		(2) 												
見通し	100 が 10 こで 1000 だから 1000 より大きい。 18 を 10 と 8 に分けて考える。	まとめ	100 をもとにして考えると、数の大きさを考えることができる。												
	<table border="1"> <tr> <td>千のくら い</td><td>百のくら い</td><td>十のくら い</td><td>一のくら い</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	千のくら い	百のくら い	十のくら い	一のくら い									れんしゅう	△10①100 を 46 こあつめた数はいくつですか。 ②5700 は、100 を何こあつめた数ですか。 △11 ①800+700 ②900-600 ③1000-800
千のくら い	百のくら い	十のくら い	一のくら い												
		ふりかえり													

(9) 本時の目指す児童の姿 (評価規準)

評価規準	児童の姿	規準達成のための手立て
B 数カードやdマークを使って、具体的操作を行い100のまとまりで考え説明している。 (Bを評価規準とする)	100 が 18 こ 100 が 10 こ→1000 100 が 8 こ →800 1000+800=1800 100 が 10 こで 1000, 100 が 8 こで 800 です。1000 と 800 を合わせて 1800 になります。  2300 は 2000 と 300 に分けることができます。2000 は 100 が 20 こ, 300 は 100 が 3 こだから 23 こです。	数カードやdマークを使って操作させ、考えさせる。

単元構想シート

第2学年	算数科	単元名 「4けたの数」
①本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）		
数字を勉強する良さは何だろう。		
②単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）		
100のまとまりで考えると？		
③個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）		
・10を10こ集めたら？ ・100を10こ集めたら？ ・100をもとにするって？（100のまとまり）		



単元計画の構想を立てる	
1	1000より大きい数を知る。
2	100がないときの書き方・読み方を知る。
3	10000未満の数を表す。
4	1000より大きい数を言葉や式で表す。
5	100のまとまりで考える。
6	1000より大きい数を数の線で表す。
7	10000の書き方・読み方を知る。
8	10000の近くの数を数線で表す。
9	1つの数のいろいろな表し方を考える。
10	身の回りには1000より大きい数があるか調べる。
11	単元全体を振り返る。